

《埼玉協同病院だより》

# ふれあい

2013年 No.311

発行：埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317

Tel.048-296-4771

Fax.048-296-7182

ホームページ：http://www.kyoudou-hp.com

9

## 診療科紹介 病理科

# 顕微鏡を使って病気の正確な 診断に努めています

当院の病理科は、病理専門医3名に常勤1名（写真前列中央の石津英喜病理科部長）、非常勤2名（写真前列左側の北野元生医師）、臨床検査技師5名（日本臨床細胞学会認定の細胞検査士4名）が担当しています。

病理科とは一般の方々にはあまり知られていないかもしれませんが、主に顕微鏡を使って病気の診断をする検査部門です。例えば内視鏡検査を受けた際に数ミリの胃粘膜の一部を採取し病理科に提出します。それを特殊な方法で約3ミクロンの薄さに切ってスライドガラスに貼りつけ顕微鏡で見やすいように染色をします。その標本を顕微鏡で観察して良性か悪性か診断します。また、手術などの治療で切り取られた臓器も同じように標本にして、がんがどこまでひろがっているか、どのような種類のがんかなどの診断をしています。この検査は手術中にも行われ、外科医が切除範囲を決定するのに必要となります。このような検査をまとめて病理組織診断といいます。当院では医療生協さいたまの各院所からの検体も含め年間約7,000件を診断しています。

また、喀痰や尿のなかに含まれる細胞や臓器から剥がれ落ちた細胞をスライドガラスに貼り付け特殊な方法でそれを染色して顕微鏡で観察し異常な細胞があるかないかを診断します。これを細胞診検査といいます。当院ではこちらも

年間約7,000件の検査がおこなわれています。婦人科領域の検体は、細胞診専門医でもある産婦人科医師（写真前列右側の芳賀厚子産婦人科病棟医長）にも診断していただいております。

また、亡くなられた患者様の死因を究明するために病理解剖が行なわれることがあります。ここで得られた知識は蓄積され、医学の発展のために活かされています。

このように病理科では、病気の診断にかかわる重要な仕事を行っています。経験と技術、知識が要求される仕事です。診断の非常に難しい症例では、免疫染色という特定の物質を染め分ける技術を積極的に活用しています。それでも判断に困る症例では、東京医科歯科大学医学部附属病院とも連携し適切な診断ができるように心がけています。

わたしたち病理科では、直接患者様に説明を



前列左側から北野元生医師、石津英喜病理科部長、芳賀厚子産婦人科病棟医長と後列検査科スタッフの皆さん

することはありませんが、正確な診断ができるように日々努力しております。

（病理科部長 石津 英喜）

## 10.1仲間増やし



旧生協法が10月1日に施行されたことを記念し、10月1日を「10.1仲間増やし行動」としています。仲間増やしとは、多くの新しい医療生協の組合員を迎え入れ、増やしていく取り組みです。

地域で「安心と健康のつながり（セーフティネット）」を広げるため、今年度も仲間増やし行動に力を入れていきます。

「10.1仲間増やし行動」9月24日～10月1日の期間中は、外来の待ち時間などに声かけをいたしますので、ご協力よろしくお願ひします。（地域活動委員会）

## 支部主催 健康まつり

問い合わせ：組合活動課  
☎048-296-8180(直通)

ご近所お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

地区・ブロック	支部名	開催日	開催時間	会場
南部地区	木曾呂・東内野	10月6日(日)	10:00~13:00	市営住宅集会所
	神根東	10月11日(金)	13:00~16:00	神根東公民館
	道合・神戸	10月27日(日)	10:00~13:00	道合神戸住宅集会所
	根岸	10月12日(土)	9:30~12:30	市営住宅集会所
	源左衛門	10月19日(土)	10:00~13:00	神根西原公園(予定)
	芝北	10月26日(土)	10:00~15:30	芝北公民館
	芝南	10月30日(水)	10:00~13:00	芝公民館
	芝西	10月23日(水)	9:30~12:30	芝西公民館
	伊刈・芝	11月13日(水)	13:00~15:30	芝下町会館
	差間	10月5日(土)	10:00~12:00	戸塚西公民館
	戸塚中央	11月16日(土)	13:00~16:00	戸塚公民館
	戸塚南	11月8日(金)	12:00~16:00	下戸塚町会館
	東川口	10月5日(土)	13:00~16:00	ミニコープ
①	安行	11月16日(土)	12:00~16:00	安行公民館
	安行慈林	11月16日(土)	12:00~16:00	安行公民館
②	新郷	10月26日(土)	10:00~13:00	新郷公民館

地区・ブロック	支部名	開催日	開催時間	会場
南部地区	鳩ヶ谷中央	10月5日(土)	10:00~14:00	鳩ヶ谷中央公民館
	鳩ヶ谷桜町	11月10日(日)	10:00~14:00	ふれあいプラザ
	鳩ヶ谷里	10月6日(日)	13:00~16:00	鳩ヶ谷里公民館
	鳩ヶ谷辻	10月29日(火)	11:00~15:00	やすらぎ会館
	鳩ヶ谷南	10月29日(火)	11:00~15:00	やすらぎ会館
	前川	10月25日(金)	11:00~13:00	前川公民館
	中青木	11月3日(日)	10:00~12:30	青木公民館
	青木	10月27日(日)	10:00~12:30	青木東公民館
	上青木	11月2日(土)	10:00~14:00	上青木公民館
	西並	11月16日(土)	10:00~12:15	並木公民館
	西平	11月9日(土)	10:00~12:30	南平公民館
	幸栄本町金山	10月26日(土)	10:00~12:30	栄町公民館
	②	西川口1	11月16日(土)	10:00~14:00
西川口2		11月16日(土)	10:00~14:00	横曽根公民館(予定)
西川口3		11月9日(土)	10:00~14:00	飯塚氷川神社
戸田		10月27日(日)	10:00~15:00	東部福祉センター
蕨	10月6日(日)	10:00~16:00	南町公民館	



### 専門職シリーズ① 細胞検査士の紹介

## がん細胞を探し出すのが仕事です

本紙一面にて触れている、細胞検査士について紹介いたします。

細胞検査士とは、読んで字のごとく、細胞を検査するための資格です。人のからだの最小単位は細胞です。その細胞を顕微鏡で観察して「がん細胞」を探し出すのが細胞検査士の仕事です。細胞検査士が探し出した「がん細胞」を細胞診専門医の資格をもった医師が確認をして診断をしています。

からだの一部を擦って細胞を取ったり(子宮

がん検査など)、からだから排泄されるものの細胞を集めたり(肺がん検査の喀痰や膀胱がん検査の尿など)、また乳房の「しこり」に直接注射針を刺して細胞を吸い取ったり(乳がん)するなど多くの領域を検査しています。この検査が細胞診(細胞検査)です。

検査の中で多くの割合を占めているのは婦人科からでる検体です。最近では20歳台から30歳台の方で子宮がんや子宮がんの一手手前の細胞に遭遇することもあります。

そのような時には、症状がなくても一年に一回は健康診断を受けていただきたいと強く思います。

私たち細胞検査士は、患者様に直接会って説明することはありませんが、病理専門医と連携して正確な診断が出せるよう、しっかりとサポートしていきたいと思っております。



日本臨床細胞学会  
認定細胞検査士  
検査科主任  
金泉 恵美子

### シリーズ医療の質の改善③ 早期発見・早期治療には二次精査が大事

当院では、医療の質を定量的に測るための指標を300以上設定しています。測定値をもとに課題を明らかにして改善策をたてたり、実行したことが改善にむすびについているかどうかを確かめることによって、継続的な改善を図るためです。今回は、早期発見・早期治療を目指したがん検診の取り組みについて、紹介します。

健康増進センターでは、皆さんに定期的な健康診断受診を呼びかけています。当院で健康診断を受けられる方は毎年27,000~28,000名いらっしゃいます。そのうち約4割がD判定以上の精査が必要な方で、健康増進センターでは手紙や電話などで結果をもって受診に来ていただく

ようお勧めしています。特にここ数年間は胃がん、大腸がん、肺がんの発見とその精査に取り組んできました。図1は、総合判定とがん検診のD判定以上の方の精査率です。2011年と2012年を比較すると大腸がん検査以外は二次精査を受けた方が増加しています。皆さんの健康への意識が高まっ

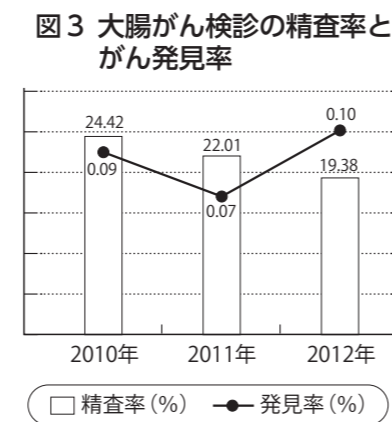
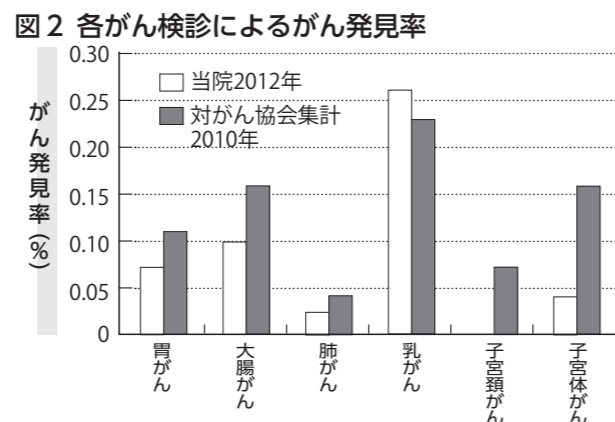
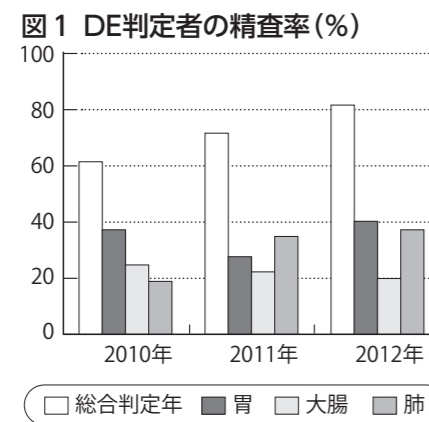
ているものとともに嬉しく思います。

次にごがん検診の発見率についてです。全国のがん発見率(2010年)と当院の2012年のがん発見率を比較(図2)したところ、乳がん以外、低い結果です。着目いただきたいのは大腸がん検診です(図3)。精査率は2割にとどまっております。がんが見つかった人でも、早期での発見は2011年が5割、2012年が6割でした。進行がんと診断された方の中には、前年、前々年の検診でも要精査だったにもかかわらず放置してしまっただけの方が見受けられました。症状が重くなったから病院へ行くのでは身体的にも経済的にも負担は大きくなるばかりです。早めの精査が、

がんの早期発見・早期治療につながります。

症状がない時から定期的に健康診断を受けることが重要なのは言うまでもありませんが「健康診断当日に受診さえすれば良い」ということではなく、健康診断の結果は必ず確認してください。そして「検査が必要」となった場合は、すみやかに医療機関で必要な検査や治療を受けることが大切です。精密検査の結果、異常なしと診断される場合もありますが、自己判断はせず医師の診断を受けていただくようお願いいたします。

(診療情報部)



### 当院と医療連携している

## 開業医さんのご紹介

38

### 菅原整形外科



菅原 誠先生

平成7年の開院以来、約19年間、健康管理の良きサポーターとして、痛み

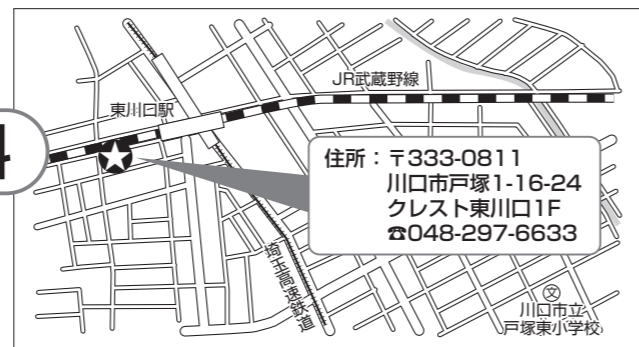
の治療はもちろん、良質な医療サービスの提供を心がけ、地域に根ざした整形外科として診療を続けてまいりました。時間の許す限り、患者様のお話を丁寧に聴き、治療計画をできるだけ分かりやすくお伝えしています。

足のテーピングや装具治療を始め、整形外科一般の疾患に対応しています。X線検査に加えて、超音波検査(エコー)も診断に利用し、早期の機能回復を目的に様々な理学療法機器を導入(マッサージ併用)しております。

診療所での待ち時間短縮のため、インターネットでの受付をお勧めしておりますので御利用下さい。

埼玉協同病院には地域の基幹病院として、日頃より紹介希望の患者様始め、入院・外来・検査など様々な受け入れを行っていただき感謝しております。

院長：菅原 誠



住所：〒333-0811 川口市戸塚1-16-24 クレスト東川口1F ☎048-297-6633

診療時間表: 午前9:00~12:00, 午後15:00~19:00. 休診日: 木曜午前、土曜午後、日曜日

※「ふれあい」に掲載の開業医さんを受診される際は、受診前に必ず問い合わせをお願いします。

## 納涼祭を行いました

回復期リハビリ病棟では、8月7日(水)に納涼祭を行いました。オープニングでは獅子舞の厄除けや食養科と連携し、屋台をイメージした食べ物(焼きそば、じゃがバター、カキ氷など)を患者様に召しあがっていただきました。

ヨーヨーすくいや射的はご家族と一緒に楽しんでいただけました。ヨーヨーが釣れた時や、的に当たった時の患者様からは、普段は見ることのできない笑顔を見ることができ、職員一同、とても嬉しかったです。

最後は職員、患者様とご家族で盆踊りをしました。

患者様からは「楽しい時間を過ごせて本当に良かった」「来年もここに入院しようかな」など冗談まじりの嬉しい感想などが聞かれました。



これからも患者様に喜んでいただけるような行事を企画していきたいと思っております。(回復期リハビリテーション病棟)

## 原水爆禁止世界大会 in 長崎に参加して

今まで原爆のことを真剣に考えることがありませんでした。しかし、実際に被爆者の方や原水禁世界大会に参加していた諸外国の代表団の方々の体験談や話を聞くことで、原爆や原発の恐ろしさを知ることができました。

分科会では核兵器と原発について学ぶことができ、なぜ原発が存在するのか、なぜ今すぐに原発廃止をしなければならないのかななどを勉強させていただきました。また、交流会では他県の民医連の方と知り合うことができ、多くの貴重な体験をすることができて原水爆禁止世界大会に参加して良かったです。

今回参加できたのも、カンパををしていただ



平和祈念像の前で医療生協さんたちからの参加者

いた患者様・組合員の方々のおかげであることに感謝し、学んだことを地域や職場に伝えていきたいと思っております。ありがとうございました。(臨床工学士 熊谷 大樹)



### 検査料金について適切にご案内いたします

問 医師から超音波検査をすすめられました。費用を尋ねたのですが、そんなに高額ではないというお話でした。代金がわかるようにしてください。

答 この度は適切な対応ができずに申し訳ございません。おもな検査の料金については、各診療科で分かるようにいたします。患者様の保険の種類で料金が異なりますので、詳しくは事務職員がご案内いたします。

回答者：五十嵐加代子(外来看護長)



第141回

検査データの見方 亜鉛編

身体中にほんのわずかしかが存在しますが、重要な役割を担っている金属を「微量元素」といいます。

亜鉛は鉄の次に身体の中に多くある微量元素で体重70kgの人には約2.3g存在します。

身体の中では骨に多く、次に体組織にあります。身体に入る亜鉛はすべて食物からの摂取で、排泄は消化器から9割で残りは尿と汗です。通常の食生活であれば不足することはありませんが栄養状態が低下すると不足します。また、極度なダイエット・偏食でも不足することがありますので血液中の亜鉛量は栄養評価の指

### 総合防災訓練を実施

7月24日(水)に総合防災訓練を実施しました。

大規模災害に備え、南関東を震源とするM7の地震が深夜2時30分に発生を想定した内容でした。

各病棟に入院中の患者様の安否確認および被害状況を災害対策本部に報告。被害軽減措置や復旧作業を迅速に対応できるように訓練を実施しました。

また、火災発生時の初期消火および避難誘導訓練も行いました。

大規模災害が発生した時、医療を継続し、地域の皆様の役に立てるように今後も定期的に訓練をかさねていきたいと思っております。

(防災対策委員会事務局 金原 隆善)



避難誘導訓練の様子

### 小児喘息教室を開催します

喘息の発作や病気の仕組み、薬のことについて理解を深め喘息発作の予防につなげられることを目的とした喘息教室を開催します。

日時：10月7日(月)

受付14:00、開始14:30、終了16:30

場所：ふれあい会館 第1会議室

対象者：2歳~未就学児とその保護者20人

内容：①和泉桂子小児科部長の講義

②薬剤師から薬についての講義

③理学療法士から自宅で行える呼吸法の講義

費用：500円(資料代として)

申込み方法：電話での受付となります。

☎048-296-4771(代)

担当：小児科外来

※定員になり次第締め切らせていただきます。

受付時間：月~金 9:00~16:30

(小児科外来)

標の一つに用いられます。

亜鉛が不足した状態が続けば欠乏症を発症します。

亜鉛欠乏症の症状としては、味覚・嗅覚の障害がよく知られていますが、食欲減退、成長遅延、皮膚炎、脱毛、創傷治癒の遅延、嗜眠(しみん)、うつ状態などの精神・神経症状など多彩な症状があります。

患者様の栄養状態の評価や中心静脈栄養・経腸栄養に伴う亜鉛欠乏症の診断が円滑に実施できるように院内での検査開始を予定しています。



